

第37回

市民のひろば

障がい者児の人権を考える

知る・見る・触れ合う・体験する

入場無料

平成26年12月6日(土)

午前11時～午後3時30分
長岡京市立中央公民館

◎体験活動

車いす、アイマスク・白杖、さをり織り、要約筆記・手話、
点字・点図、点字用紙で箱作り、障がい者スポーツ

◎舞台発表

長岡第二中学校の福祉体験発表、各参加団体の生活体験発表

◎展示

生け花、市内特別支援学級児童・生徒の作品、要約筆記、
ピアカウンセリングなど

◎その他いろいろなお楽しみコーナーがあります！

お楽しみコーナー

- ◎模擬店
 - ・新出店 わたがし
 - ・ポップコーン
 - ・やきいも
 - ・うどん
 - ・パン
- ◎スーパーボールすくい(無料)
- ◎おでかけほっこりんぐ
福祉事業所製品展示・販売
- ◎スタンプラリー
(花苗プレゼント)
- ◎黄色いハンカチ配布
- ◎バザー
- ◎紙芝居
- ◎障がい相談コーナー



お玉ちゃんも
くるよー！

毎年12月3日から12月9日までの1週間は「障害者週間」です

「障害者週間」は国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されています。ぜひこの機会に、障がい者児の人権を考える市民のひろばに足を運んで障がいについて考えてみませんか？

同時開催 人権を考えるつどい

映画「ウィニング・パス」上映(音声ガイド付き)

14:00～ 3階市民ホール

映画主題歌

「僕はひとりじゃない」
の作詞・鮎川めぐみさん
によるトークもあります！
館内での展示などは
午前11時から
はじまります。



◎ 不慮の事故により下半身
不随になった青年が車椅子
バスケットに全力で挑む青春物語です。
主演 松山ケンイチ



ウィニング・パス

ひろば新聞についてお問い合わせは長岡京市役所障がい福祉課へ

TEL: 075-955-9549 FAX: 075-952-0001 メール: syougaifukushi@city.nagaokakyo.kyoto.jp

乙訓若竹苑

(題:加藤 恵亮さん)

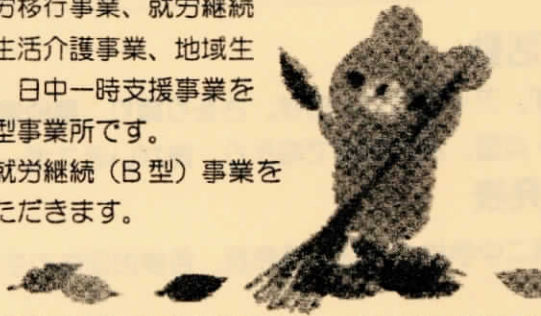
あとくにわかてけん

からの 紹介です。

○乙訓若竹苑ってどんなところ?

乙訓若竹苑は就労移行事業、就労継続 (B型) 事業、生活介護事業、地域生活支援センター、日中一時支援事業を運営する多機能型事業所です。

今回はその中の就労継続 (B型) 事業をご紹介します。



○就労継続 (B型) 支援事業では・・・

約40名の知的や身体等々に障がいを持つ方々が苑内外で働いておられます。

苑内では・・・地域の企業から頂いた商品の袋詰め、箱折り、商品の組み立て等の受注作業やまな板などの木工作業にも取り組んでいます。

苑外では・・・地域の老人施設の清掃、霊園や墓地でのお墓清掃、光明寺境内の清掃等、地域に根ざした作業に取り組んでいます。

利用者の皆さんにさまざまな種類の作業を提供することにより、個々人の力量や目標に応じた選択が広がると考えています。

作業収入を分配する毎月の「工賃」は利用者の皆さんの大きな楽しみです。今後も働きがいの持てるような「工賃」を目指したいと思っています。また、作業の合間を縫ってのカラオケ等のレクリエーションや年に一度の日帰り旅行も利用者の皆さんの大きな励みになっています。

あらぐさ福祉会

あらぐさ ふくしかい

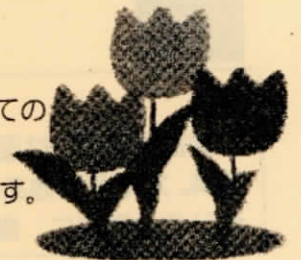
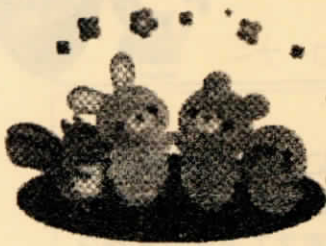
って ご存知ですか。

あらぐさ福祉会では、

○どんなに障害が重くても一人ひとりの人格を尊重します。

○一人ひとりの生き生きとした生活と社会参加活動を通して、人間としての豊かさや生きがいを支援します。

○障害のある人が将来にわたって安心して暮らせる地域社会をめざします。を理念としてさまざまな活動をしています。



あらぐさは、「どんなに障害が重くても、乙訓でこの子を育てたい、暮らさせたい」と強く願う親たちが力を合わせて生み出しました。社会福祉法人あらぐさ福祉会は、その願いを引き継ぎ、発展させ、障害者が豊かに安心して暮らせる地域社会をめざします。

あらぐさ福祉会【障害福祉センターあらぐさ】には、現在59名の方が通所され、創作活動や生産活動、野外への散歩や社会体験などさまざまな活動を行っています。今回は、その中の花卉生産販売活動についてご紹介します。

花卉生産販売活動とは、土作りやポット洗い、播種、水やり、肥料やり～出荷・販売までの中で利用者一人ひとりに

合った活動を行っています。その活動を通じて花を育てる喜び、売れる喜び、相手に喜んでもらう喜びなど、さまざまな経験を積む機会となっています。今年度は、春にはネメシア、夏にはひまわり、マリーゴールド、冬にはピオラ、パンジーの生産に取り組んでおり、季節ごとにとてもきれいな花を咲かせてくれています。

花卉生産販売活動を始めとする障害福祉センターあらぐさのさまざまな活動は、あらぐさのご家族、職員だけではなく、学校や保育所、行政などたくさんの他団体、個人の皆様のご協力により成り立っています。今後もあらぐさ福祉会の活動にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。